

苺 育苗栽培管理（前半）について

令和8年7月
アグリ技研(株)

項目	5月			6月			7月			8月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
作業	親株の追肥・防除（二次苗）			採苗時期（受苗）			切離時期			苗仕上げ時期		

防除	立枯れ性やダニ類(タンソ・イオウ・ウドンコ・ハダニ、アブラムシ、ヨトウ) * ウドンコには、 シリカ水(1000倍)の混用
----	--

肥料（育苗期）	親株に味太郎20g 又はグローアーM錠剤1粒	苗株に味太郎5~7g 30~40日間隔 又はグローア
	親株にアミクエ500倍+ウルル7号500倍灌注	苗株にアミクエ500倍+鉄ピタ2000倍灌注
	育苗期は、定期的に追肥、カル元気1000倍葉面散布	徒長抑制・分化対策にPKゴー2000倍葉
	苗の充実にPKゴー2000倍+クドグリーン500倍混用葉面散布	

肥料（元肥）	鮮彩ロング	5~7袋	ゆっくり遅効性には「味太郎」	マルチ前追肥に味太郎 3袋
	豊作源	8~10袋		
	珪リン酸	2~3袋		
	ベストフミン	3~5袋		
	モンネン	3~5袋		
	カルタマQ	5袋		

土壤分析数値に応じて施肥

ポイント	<ul style="list-style-type: none">* 高温乾燥気味な場合には、十分な灌水に努め追肥も置き肥と液肥を使用する。* 前半から根張りには十分に対策を取る。 「アミクエ・PKゴー」* 花芽分化確認後に適時に定植する。「高温などで早植えを避けてなるべく遅植えとする」
------	---